



平成 29 年 11 月 6 日

各 位

会 社 名 三信電気株式会社
代表者名 代表取締役 社長執行役員（COO） 鈴木 俊郎
（コード番号 8150）
問合せ先責任者 取締役 執行役員財務本部長 御園 明雄
（TEL 03-3453-5111）

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の動向を踏まえ、通期の業績予想を下記の通りといたしましたので、お知らせいたします。

記

平成 30 年 3 月期通期連結業績予想数値の修正（平成 29 年 4 月 1 日～平成 30 年 3 月 31 日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1 株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想（A）	185,000	1,550	1,380	700	24.84
今回修正予想（B）	153,000	1,600	1,500	800	28.39
増減額（B－A）	△32,000	50	120	100	
増減率（％）	△17.3	3.2	8.7	14.3	
（ご参考）前期実績 （平成 29 年 3 月期）	167,654	804	△952	△1,575	△55.90

修正の理由

売上高につきましては、半導体や電子部品の需給が逼迫していることや、新規大型ビジネスがその契約内容から納入代行による手数料収入のみを売上高に計上することになったことを受け、デバイス事業の売上高が計画を下回る見込みとなったことにより、前回予想に比べ減少する見込みです。

一方、損益面につきましては、デバイス事業において実施した希望退職の応募者数が想定を下回ったものの、変動費を中心としたコスト削減により販管費の上昇を抑えられる見込みであること、総利益率の向上が見込まれること、加えて支払利息の減少等営業外損益の改善が見込まれることなどから、営業利益および経常利益は前回予想に比べ増加する見込みです。

なお、親会社株主に帰属する当期純利益は、経常利益の前回予想からの増加に加え、希望退職の応募者数が想定を下回ったことに伴い特別損失の減少が見込まれるものの、海外子会社に比べ親会社である当社の税金等調整前当期純利益の比率が高まることにより法人税等の増加が見込まれることから、前回予想に比べ小幅な増加に留まる見込みです。

（注）本文書に記載されている業績予想につきましては、現時点で入手可能な情報に基づく将来の予測であって、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。実際の業績は、様々な要因により予想数値と大きく異なる可能性があります。

以上